

熊本地域医療センターだより

院長 廣田昌彦

平成25年(2013年)4月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

2013 4 月号 通算95号



医師会病院理念

『患者さんの権利を尊重し、より良質で安全な医療を提供できるように、
医師会会員と一丸となって地域医療に貢献する。』

CONTENTS

2面 後藤善隆先生退職

3面 退任医師あいさつ

出勤協力医総会

4面 外来診療週間スケジュール

もうすぐ夏ですね

副院長兼外科部長 有田 哲正



楽しみにしていた桜も終わり、街角には花水木が可憐な花(苞)をつけ、街路樹の緑も鮮やかさを増して来ました。春は別れと出会いの季節と言われていますが、当センターでも、長く勤められた後藤善隆先生が退職されました。大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。入所以来お世話になった先生が去っていかれるのをみると、そろそろ私も潮時かなと、ふと思ってしまいます。後藤先生は、熊本の小児救急医療の要として熊本方式の確立に尽力されてきたばかりではなく、熊本市医師会の理事や、熊本地域医療センターの副院長として幅広く御活躍されてきました。先日、喫煙所で話した折、後進に道を譲ると恰好良

いことを仰っていましたが、先生の退職は病院にとっても大きな損失です。この機会に病院も若返れば良いなと思っていましたが、どういう訳か老頭児(ロートル)の私が副院長になってしまいました。仕事も頭も切れ、脂の乗った中堅の先生方が沢山いますが、誰に頼むか迷うし、角が立つても不味いので、人畜無害の私にワンポイントリリーフが回ってきたものと思われま。生来なまけもので大した事は出来ませんが、少なくとも廣田院長の足を引っ張らないように心懸けていきたいと思えます。

さて今年度も病院はまだまだ大変です。中でも、看護師の減少は危機的状況に陥り、4階南病棟を閉鎖し、稼働ベッドを削減することで、何とか7:1看護が維持できそうです。廣田院長も看護師の確保を喫緊の課題とし、採用及

び定着推進の為に様々な提案をされています。奨学金制度や奨励金制度、職員の処遇改善策等々少しずつ良い方向に向かいつつあるようですが、まだ医師会との温度差もあり、スムーズに進まないのが現状のようです。しかし、診療部内では、何とかせにやいかなという気持ちも高まってきて、医局会、診療部会でも積極的な意見が交わされ、何とか良い病院を創って行きたいという意志がみえてきます。働き甲斐があり、希望のもてる病院にする為には、処遇の改善だけで解決するものではなく、職員各々がプロ意識を持ち、自分の仕事にプライドと責任を持って、お互いが連携、理解し合うことが大切かと思えます。上は叱って押しつけるばかりではダメだし、下は文句言うばかりではつまらんですよ。もうすぐ夏ですね、ビールも美味しくなりますよ。